

当院で行っている検査

現在、保険診療で受けられる「がん遺伝子パネル検査」は、下記表の3種類です。

また、当院では自費診療（約40万円）にて「Guardant360」も実施しております。

	保険診療			自費診療
検査	FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル	FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル	OncoGuide™NCC オンコパネルシステム	Guardant360
必要な検体	腫瘍検体 (FFPE)*	血液	腫瘍検体 (FFPE)*、血液	血液
解析遺伝子数	324遺伝子	324遺伝子	124遺伝子	74遺伝子
検査費用	56万円 (1-3割自己負担) 高額療養費制度が適応となります			約40万円

※3割自己負担の場合、56万円の3割で約17万円前後

*腫瘍検体 (FFPE)：手術あるいは生検で採取され、10%中性緩衝ホルマリンで固定されたホルマリン固定パラフィン包埋ブロック薄切片

保険診療の対象となる方について

- 【原発不明がん】【希少がん】【標準治療が終了（終了が見込まれる）固形がん】の方
- 全身状態及び臓器機能等から、本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した方。
患者さんの病態、検体の状態などから、最終的にがんゲノム医療担当医が検査が可能かどうか判断します。

検査について知っていただきたいこと

- 有用な情報が何も得られない可能性があります。
- 遺伝子変異があっても対応するお薬がなければ治療へは進めません。対応するお薬が保険適応外の場合、治療が全額自己負担になる可能性があります。
- 対応するお薬があっても承認状況や治験により治療を受けられない場合があります。
- 対応するお薬の投与を受けても効果があることを保証するものではありません。
- 検査が実施されなかった(中止になった)場合でも、決められた費用はお支払いいただくことになります。

検査の流れ・費用について

STEP 1 検査申込
主治医（かかりつけ医）より、岩手医大がんゲノム室に依頼となります。

STEP 2 検体確認
岩手医大の検査部にて、検体が検査に適しているか確認を行います。

STEP 3 外来受診（1回目）
岩手医大がんゲノム室を受診します。検査の説明を受け、御同意頂けたら、同意書にサインを頂きます。検査の種類によっては、採血も行います。検査費用の一部（44万円～）をお支払い頂きます。

STEP 4 検体検査
検査の種類によって、1か月から1か月半ほどお時間を頂きます。

STEP 5 結果検討
当院の各専門家がカンファランスを行い、検査結果に基づいた最適な治療方針を検討します。

STEP 6 結果説明（2回目）
岩手医大ゲノム室を受診いただけます。検査の結果についてご説明し、今後の治療についてご提案します。最後、検査費用の残り（12万円～）をお支払い頂きます。

がんゲノム室受診は、できるだけご家族の同席をお願いいたします。

※現在当院で治療中の方は主治医にご相談ください（入院中の方は検査は受けられません）。

※患者さんからの直接の予約は受け付けておりません。当院で治療を受けていない方は、現在通院中の医療機関の主治医の先生にご相談し、予約を依頼してください。

各医療機関関係者の皆様へ

必要書類一覧

- ① FAX申し込み用紙
 - ② 診療情報提供書
 - ③ がん遺伝子パネル検査診療情報提供書 (C-CAT登録用紙)
 - ④ 採血検査結果・画像データ
 - ⑤ 病理診断報告書
 - ⑥ 腫瘍検体
- ※詳しくはホームページを参照し、必要書類のダウンロードをお願いいたします。
※ご予約の方法についてもホームページにて確認をお願いいたします。

お問い合わせ先

岩手医科大学附属病院がんセンター
がんゲノム室（病院総務課内）

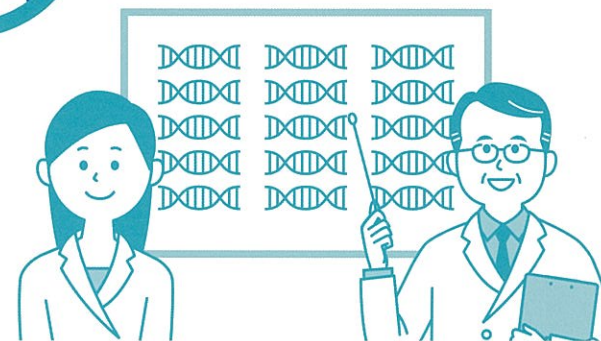
TEL 019-613-7111（内線 6039）

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/service/genome.html>



がんゲノム検査 （がん遺伝子パネル検査）

新しい がん検査



がんゲノム医療は患者さんの
がん組織特有の遺伝子情報に基づいて
治療の提案を行うものです。



岩手医科大学附属病院



ごあいさつ

がんセンター
がんゲノム室長

菅井 有

2019年6月に、がんゲノム検査が保険適応となり、全国的にがんゲノム医療が徐々に浸透してきております。

がんゲノム検査は、手術や生検などによって、患者さんから得られた病理組織からDNA（遺伝子）を抽出して、遺伝子の解析を行う検査です。

遺伝子の解析結果が得られましたら、医師や遺伝カウンセラーなど各専門家が集まりカンファランスを行い、最適な治療方針を皆で検討します。

この検査を実施できる施設は、国から指定を受けているがんゲノム医療中核拠点病院や連携病院のみとなっております。岩手県では、岩手医科大学附属病院のみとなっております。

この検査に興味をお持ちになりましたら、まずは主治医にこの検査が可能かご相談してみてください。

関係機関一覧

検査に関するお問い合わせ

岩手医科大学附属病院がんセンター がんゲノム室(病院総務課内)

TEL 019-613-7111 (内線 6039)

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/service/genome.html>

ご予約に関するお問い合わせ

岩手医科大学附属病院 患者サポートセンター

TEL 019-613-7111 (代表) (内線 4151) FAX 019-611-8071

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/tg-doctor/fax-shokai-flow/>

検体送付先

岩手医科大学医学部病理診断科

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号



遺伝子を分析することで、
最適の治療を受けられる
可能性があります

この検査のメリットは？

患者さん一人一人の、がんの遺伝子の特徴を知ることが出来ます。そのため、その人にあった治療を探し、治療の選択肢がふえる可能性があります。この検査に興味をお持ちになりましたら、主治医にご相談してみてください。

どんなところが新しくなったの？

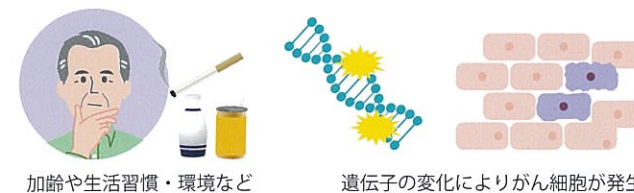
これまでは、大腸がん、乳がん、肺がん・・・など、どの臓器ががんになったかで、治療法を検討してきました。この検査では、どの遺伝子が変わり、どの臓器ががんになったかで、治療法を検討することが出来るようになります。

これまでは臓器別に分類

がんゲノム医療では遺伝子別に分類



がんってどうしてなるの？



加齢や生活習慣・環境など

遺伝子の変化によりがん細胞が発生

がん(悪性腫瘍)は、正常な細胞の遺伝子がおかしくなることにより発生します。遺伝子がおかしくなると正常に働かなくなり、病気になってしまうことを「がん」と呼びます。

がん遺伝子パネル検査って何？



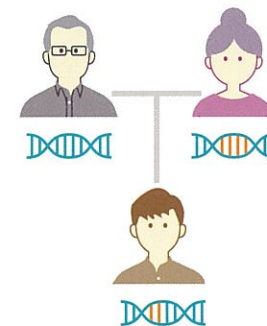
血液やがん細胞など

遺伝子の解析やエキスパートパネルによる検討

がんになってしまった細胞に起こっている遺伝子の変化を調べることで、そのがんの特徴が分かります。その特徴に合った治療法を探すための検査です。

その他の注意点

遺伝性腫瘍(生まれつきがんになりやすい体質)の遺伝子の変異がわかることがあります。ご家族や血縁者に関わる情報ですので、この検査結果を知りたいかどうかを伺っています。また、当院で遺伝カウンセリングを受けることができます(自費診療)。



知る・知らないについては
ご希望を尊重いたします。